

教職概論	1年・前期	2単位	教授 平沢 信康
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	36111242

## 1. 授業のねらい・概要

現代社会における教職の重要性への期待の高まりに鑑み、教職の意義と職務内容および教師の役割を理解する。教職に関する教育法規を確認し、教職への使命感を涵養することをねらいとする。

養護教諭の教育職員免許状の取得を希望する受講者が教職をめぐる諸状況を多面的に理解し、かつ進路選択を考える基盤となる各種情報にふれて、学生自らが適性を判断できるようにする。さらに、教職という専門職の在り方を省察しつつ教師のあるべき姿を探求し、社会から求められている教師像を確認し、これからの時代に必要とされる教員の資質能力に関して熟考し、自らの理想像を描く。

## 2. 学修の到達目標

1. 教職の歴史的・社会的変遷を理解する。
2. 近年の教育界の現況をふまえて、現代の教員に求められる役割を理解する。
3. 教員の職務内容や教員に課せられる服務上の義務を理解する。
4. 我が国における今日の学校教育の状況を念頭に置き、教員が学校内外の専門家たちと連携し役割分担して対応する必要性について理解を深める。

## 3. 授業の進め方

基本的には、講義要旨（レジュメ）を配布し、その教材資料をもとに講義形式で進めるが、適宜インターネットを利用して受講生のアクティヴ・ラーニングを促す。すなわち受講生の所有するスマホを活用し、語義や重要人物の経歴および画像、法律の条文、各種統計データ等を検索して確認し、理解を深める。

また、教職に対して受講者が抱いている課題意識や被教育体験を開陳する機会も随時設け、情報や想いをシェアしたい。

## 4. 授業計画（講義）

1. 教職と教師について 2. 教員の養成について ― その歴史と現状 3. 教育職員免許状について 4. 教員の信用失墜行為と進退・処分 5. 教員の採用 6. 任命と服務義務および条件附採用 7. 多様な研修制度 ― 法規と種類 8. 教員の身分と職制	9. 教職員の給与負担制度 10. 教職のストレスと教師のメンタルヘルス 11. 教師の職能団体と教職員組合の歴史 12. 「不適格教員」―〈問題教師〉の種類と対策 13. 教員の人事評価制度と人事管理 14. 「チーム学校」運営への自覚 ― 校務分掌・同僚との協力および内外の専門家との連携・対応 15. 教職に求められる望ましい資質能力：理想の教師を求めて教師の力量形成を考える
---	---

## 5. 成績評価の方法・基準

学期末試験（筆記試験）を実施する。毎回の講義終了時に記してもらった感想文（45%）、学期末の筆記末試験の成績（55%）を基に、総合的に評価する。新型コロナウイルスの感染が続くような状況下では、学期末試験をレポート提出に替えることがある。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：なし 講師自製のレジュメを配付する。

参考文献：関川悦雄・羽田積男『現代教職論』弘文堂、2016。

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

本講義に関係する書籍雑誌について、参考文献をはじめ大学図書館の蔵書などにあたって予習復習（各1時間）する。

## 8. 受講上の留意事項

新聞雑誌などの報道に接し、教職に関する時事的な情報に敏感になってほしい。教職に関するテレビニュース報道も積極的に視聴すること。また教員採用試験の受験雑誌にある当該情報にも目を通すことが望ましい。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

毎回、講義終了時に記してもらった出席票兼用の「感想メモ帳」に書かれた小文に対して添削とコメントを付して次週の講義冒頭に返却する。また学期末試験の終了後、特に注意を喚起すべき事項について指摘した講評を掲示する。

なお、今後も新型コロナウイルスの感染が続くような状況下では、各回の講義終了後に感想文を電子メールで提出してもらい、

その内容に関して、ネットを通じてコメントを返信する。

**10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**  
教職課程の必修科目である。

**11. 実務経験のある教員等による授業科目**  
該当しない。